

学校行事の取組を通して、子どもたちを育てよう！ ～学級の団結力を高めよう～

平成24年8月30日発行

いよいよ新学期が始まります。子どもたちとの生活を楽しみにしている先生が多いと思いますが、新学期のスタートに不安を感じている先生もいると思います。新学期が始まったら、夏休み前までに定着させた学級のルールや担任との約束事が、どこかに飛んでしまっていたということもあります。この時期の学級担任は、一からもう一度「学級づくり」をやり直すくらいの覚悟が必要です。一貫性をもって指導を続ければ、すぐに元に戻せますので、頑張ってください。



⇒ 参考資料 [「さあ、新学期！ 担任として何をしたらよいか」](#)

さて、2学期（9月～12月）は、運動会・体育祭、音楽会・合唱コンクールなど、大きな行事が続きます。（運動会・体育祭は、春に終わっている学校もあると思います。）

どの学校行事も、子どもたちが大きく成長するチャンスです。それぞれの行事への取組を通して、子どもたちにどんな力をつけたいのか、担任として目標を明確にして取り組みましょう。

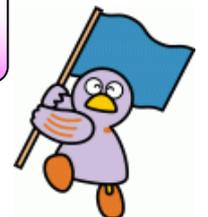


また、学級を大きく成長させるチャンスです。行事への取組を通して、互いの思いを理解し合い、協力して高め合いながら、組織力を向上していくことができます。トラブルはつきものです。そのトラブルに対しても担任は、子どもとともに考え、悩み、努力していきましょう。困難を乗り越えた感動を味わい、学級の団結力を高めましょう。

○一人一人の子どもたちの活躍の場を工夫しよう！

○学級の団結力を高めよう！

1 学級スローガン（目標）をつくろう！



○各行事のねらいの実現を目指し、学級目標を考慮して、学級スローガン（目標）を作成しましょう。

- ・学級として、学級スローガン（目標）達成に向けてどのように取り組んでいくか、共通理解を図る。

- ・学級スローガン（目標）は、目立つように学級掲示する。
- ・学級会や帰りの会等での話し合いを通して、意欲を高める。
- ・道徳の時間の話し合いでは、年間指導計画をもとに、学校行事の事前・事後、当日の体験を生かした指導を行う。（前年度の体験を生かす方法もあります。）

※強い意志、思いやり、役割と責任の自覚、集団生活の向上、学校や学級の一員としての自覚、協力など 【体験活動を生かすなどの指導の充実】



2 学級での役割を決めて、自主的な活動を促そう！

一人一人を生かすチャンスです。個性や特徴を生かした役割を与え、活躍させることが、存在感や自己有用感をもたせることにつながります。

○学級での実行委員、作戦・練習計画作成係、応援旗作成係等の学級での役割を決めます。

- ・各委員や係がどのように活動したらよいのか、具体的に指導することが必要。
- ・活動のヒントを与えたら、子どもたちに活動させ、担任は見守る。

子どもたちが困っていたら、手を差し伸べるが、子どもたちが自分たちでできた実感できるように、支援の方法を工夫することが重要。

（学年、発達段階によって、どのように支援するかが異なる。）

- ・学校として、子どもたちの自主的な活動について共通理解して取り組むと、学年が上がるにつれて、自分たちで考え、主体的に取り組むことができる子どもたちに成長する。 ⇒ **リーダーの育成につながる。**

※リーダーを支える仲間をつくりだすことも大切。



3 個人目標を決めて、努力させよう！

○学級スローガン（目標）の実現、学級での役割達成に向けて、個人目標を考えさせます。

- ・「がんばる。」「最後までやりきる。」という抽象的な目標でなく、「毎日〇〇を続け、△△ができるようにする。」「〇〇の場面で、こんな声かけをする。」など、具体的な目標となるよう指導する。
- ・目標は、学級に掲示して、お互いに励ましあえるようにするとともに、振り返りが

できるように声かけをしていく。学級通信にも紹介する。

- ・目立たないがひたむきに努力している姿や、苦手なことに必死に取り組んでいる姿を捉え、評価する。担任がみんなの努力を認めて評価していることを示すことが大切。子どもたちは認められることで自信をもち、意欲を高める。
- ・各行事に関する活動が苦手な子どもたちに寄り添い、支援する。努力することの大切さを教え、努力したことで成長した喜びを味わわせる。

4 当日は、全力で勝利を目指そう！



○今まで一生懸命努力してきたことに自信をもたせ、胸をはって取り組ませ、感動的な1日にしましょう。

- ・担任は、精一杯声援を送るなど、全力で取り組む姿を見せる。
- ・結果に対して喜び、悔しむのは頑張った証拠。担任もその気持ちを共有する。
- ・全力で勝利は目指すが、結果は水物。結果に左右されず、努力してきた価値ある子どもたちの姿を評価する。
- ・互いに頑張った姿を、相互評価し、称え合う。
- ・取組の価値や、やりきった成果を振り返らせ評価し、今後の目標を立てさせる。

